

No. 1

# わかやま

1999年10月

和歌山県精神保健福祉センターだより

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319

和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

電話(073)435-5194 FAX(073)435-5193

発刊のご挨拶にかえて

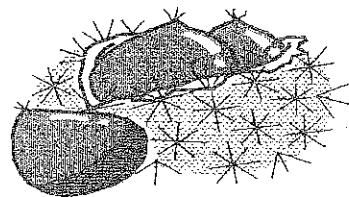
和歌山県精神保健福祉センター 所長 朝井 忠

昭和39年11月18日の「全国精神衛生相談所長会」設立当時の名簿には、和歌山県立医科大学初代教授の木村潔先生の名前が載っています。その後の所長は、大沢安秀教授、東雄司教授が兼務をしておりましたが、昭和57年6月1日より朝井忠（精神衛生センター所長として）職員は2名で設立されました。当時和歌山県立五稜病院内に新しいセンターを置き、朝井は五稜病院の医師を兼務することが条件でありました。精神衛生相談所は、和歌山県立医科大学精神科との関係が曖昧であったが、昭和57年に置かれたセンターと五稜病院との関係も曖昧なままでした。10年以上がたち、精神保健福祉センターが新しい建物になり、専従職員数も4人に増員されましたが、やはり、全国一の小さなセンターであることは確かであります。

「センターだより」その他の印刷物も、ほとんど出さず、和歌山県精神保健福祉センターは山間僻地の町村に入り、精神保健活動のみを中心におこなってきました。9町村にはいり10年間の精神活動が和歌山県下の町村モデルになったかどうかと考えてしまいます。医師1名、心理士1名のセンターでなにができたのかと自問自答してしまいます。また県下の保健所に行き、講義、ケースカンファレンス等を3～5回/年、10年間おこなってきました。

新しいセンターができて、9市町村の精神保健活動を縮小しなければならなくなりました。その変わり、新しく入ってきたソーシャルワーカーと保健婦が、新しいプログラムを模索しております。ケース相談も交通が便利になり、和歌山市を中心に来所されるケースが徐々に増加していますし、電話相談も少しずつ増加しています。

4人のメンバーで「これからの新しい和歌山県を中心とした精神保健」を展開して行くつもりですが、まだまだ時間はかかると思います。



# 精神保健福祉センターってどんなところ！？



## ○ここに 있습니다

和歌山市手平に平成10年12月にオープンした12階建てのビル“和歌山ビッグ愛”の2階にあります(平面図参照)。エレベーターを降りると電子案内板があります。

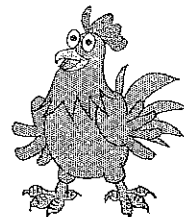
交流ロビーは精神保健福祉に関するビデオや本、資料の展示などで皆様に精神保健福祉の情報を提供しています。交流ロビーは平日9:30から17:00までオープンしています。お気軽にお立ち寄り下さい。

## ○こんな人が働いています

現在のスタッフは、所長(精神科医)、保健婦、精神保健福祉相談員、心理士が各1名、そして非常勤職員の合計5名です。(おそらく全国一小さなセンターですが、頑張っています。)

## ○精神保健福祉センターってどんなことしているの？

センターでは次のようなことをおこなっています。



### 相談活動

心の健康に関して何でも相談して下さい。

家庭や職場などでの様々な悩み、こころの病のリハビリテーション、障害のある方の社会参加などについて、こころの健康に関するあらゆる相談を次の方法で受けています。

### 【電話相談(こころの電話)】

わざわざ行かなくても、顔を合わせなくても、名前を言わなくてもよい電話相談は気軽に利用できるものです。こころの健康に関して一人で悩んでいたたり、相談する人がいなかったり、一人でいると不安になってしまう人などは遠慮せずにおかけ下さい。

月曜日～金曜日 午前9時30分～12時、午後1時～4時

(但し国民の祝日、振替休日、年末年始は除きます。)

こころの電話専用電話：0734(35)5192

### 【来所相談】

直接センターの方まで来ていただいて相談をお受けします。家族の方だけでも結構です。原則として予約制になっていますので0734(35)5192の方にお電話をおかけの上、予約をおとりください。

(相談機関ですので、投薬等の医療行為はいたしません。必要な場合は医療機関等を紹介いたします。)

### 【アルコール特定相談】

毎月第2金曜日、アルコール専門医師によるアルコールの相談を行っています。

### 【思春期特定相談】

毎月第1木曜日、登校拒否、摂食障害などの思春期問題に関して専門医師が相談を受けます。

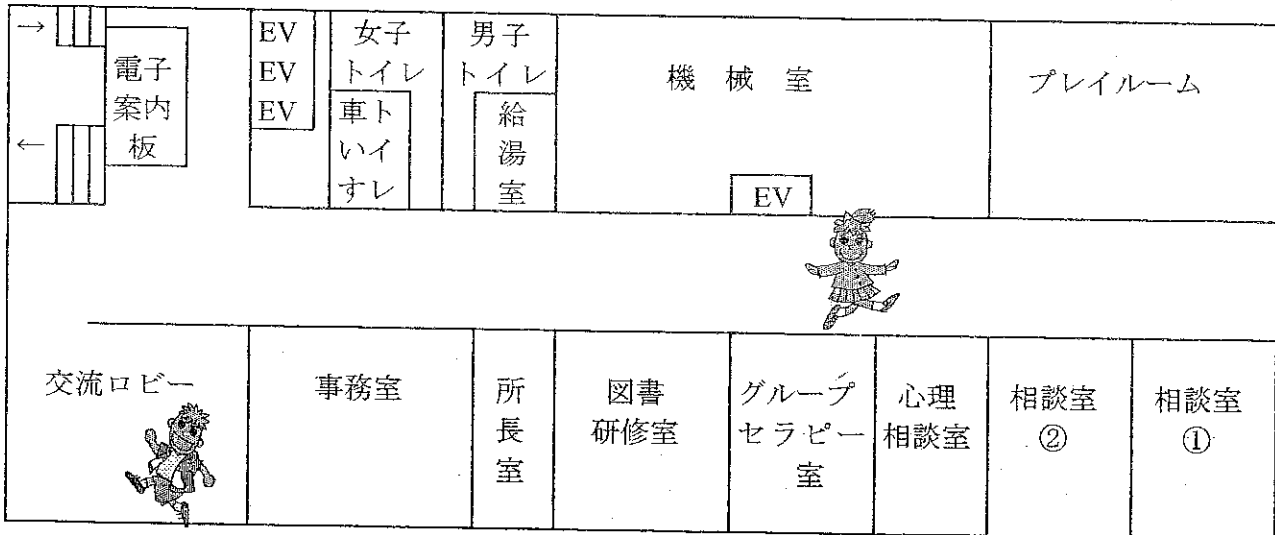
## 広報、啓発

県民を対象に講演会や出版物などを通して広く精神保健福祉に関する広報、啓発活動を行っています。

## 研修

精神保健福祉に携わる方々を対象にアルコール、思春期、こころのケアに関する研修会を開催します。

その他に和歌山県精神保健福祉協会事務局をはじめとする精神保健福祉に関する団体の事務局として地域精神保健福祉の拠点の役割を果たしています。



## 事業報告

### 平成11年度老人性痴呆疾患保健医療指導者研修を終えて

平成11年9月6日から10日まで、北は北海道から南は沖縄県まで全国から約200名の参加者を集めて、老人性痴呆疾患保健医療指導者研修が和歌山県において開催されました。5日間窮屈な会場で研修を受けられた参加者のみなさんお疲れさまでした。今回の研修で学ばれたことが少しでもみなさんのお仕事に役立つことを願っています。最終日に研修会について簡単なアンケートをとりましたのでここに報告させていただきます。

医師コース	45名
看護婦士コース	89名
保健婦士コース	34名
精神保健福祉士等コース	31名
計	197名

専門的で難解	4名
もっと高度な内容を希望	20名
適切	99名
その他	29名
未回答	10名

講師選定に考慮が必要	13名
適切な講師陣の編成	82名
もっと、大学教授等を加えるべき	1名
もっと、実務経験者を加えるべき	59名
その他	7名
未回答	8名

講演方式主体を希望	11名
講義方式主体を希望	25名
討議や事例発表主体	18名
今回の配分がほぼ適切	98名
その他	5名
未回答	12名

充分役立つ	102名
少しは役立つ	52名
余り役立つ	1名
全く役立つ	0名
どちらとも言えない	2名
その他	3名
未回答	2名

参加者中162名の方から、アンケートが回収出来ました。

総合的には好評価をいただいたと思っております。

みなさん有り難うございました。

## 全国の主な研修会・学会のお知らせ

日程	名 称	開 催 地	主催及び連絡先
10/14~15	全国精神障害者家族大会	山形県	山形県精神障害者家族連合会 023-641-5667
10/14~16	日本小児保健学会	札幌市	明佑会札幌産婦人科 011-716-1161
10/16~17	思春期精神保健特別講座	東京都府中市	安田生命社会事業団 03-3590-7705
10/17	日本嗜癮行動学会	東京都	日本嗜癮行動学会 03-5561-9365
10/20~22	日本児童青年精神医学会	札幌市	明佑会札幌病院静療院 011-821-0070
10/20~22	日本公衆衛生学会	大分県別府市	大分医大・公衆衛生第一 097-586-5730
10/22	精神保健福祉全国大会	三重県津市	三重県保健福祉課 059-224-2248
10/29~30	日本臨床心理学会	東京都	多摩総合精神保健福祉センター 047-372-0141
11/6~7	日本精神衛生学会大会	東京都	大会事務局 03-5272-3345
11/11~12	日本病院・地域精神医学会	沖縄県宜野湾市	精神神経センター 042-341-2711
11/19~20	日本子どもの虐待防止研究会	栃木県宇都宮市	身障者医療福祉センター 028-622-8207
11/26~27	日本芸術療法学会	沖縄県	日本芸術療法学会 098-972-7788

## センター研修会のお知らせ

お問い合わせは和歌山県精神保健福祉センターまで

県精神保健福祉センターでは、今年度次のような研修を計画しています。

### アルコール関連問題研修

アルコール依存症者やその家族とかかわる、保健、医療、福祉の分野で働く関係者を対象に2回シリーズで実施します。

とき：9月28日(火)・10月1日(金)

場所：精神保健福祉センター プレイルーム

講義：アルコール依存症～治療とその診断

アルコール依存症者への初期介入

アルコール依存症者への生活支援

アルコール依存症～知っておきたい専門知識

泉州病院医師

川田 晃氏

新生会病院PSW

岡村 茂司氏

アルコール作業所「いちご」PSW

佐古 恵利子氏

泉州病院院長

辻 敬氏

### 児童・思春期精神保健研修

児童、思春期にかかわる保健、医療、福祉、教育の分野で働く職員の対応技術の向上を目的とします。

とき：平成11年11月16日(火)他

場所：精神保健福祉センター

内容：「児童虐待」「不登校」「摂食障害」「思春期の非行」など

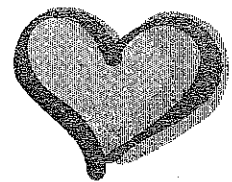
### こころのケア研修

災害や事故による心的外傷のケアにかかる保健、医療、教育、警察などの分野で働く職員を対象に実施します。

とき：平成12年2月

場所：精神保健福祉センター

内容：「災害」「虐待」「犯罪」「交通事故」などの被災者、被害者のこころのケア



### 編集雑記

編集といっても、「それぞれの担当者に書かせただけや。」という声職員から聞こえてきます。しかし、いろいろありながらも、やっと発刊までこれました。記念すべき第1号を職員全員の力で手がけられました。所長ではないですが、全国一小さなセンターのチームワークを発揮していきたいと思っています。

少しかたくなりましたが、次号からは県内の精神保健福祉に関わるお知らせや紹介をしていく予定です。ご意見等お待ちしております。

編集長 M